



留守番電話を確認する

iOS 18で、電話に回答できないときなどに、本体に発信者からのメッセージを記録する「ライブ留守番電話」機能が利用できるようになりました。ソフトバンクが提供する留守番電話サービスとの違いも確認しましょう。

🔌 ライブ留守番電話を利用する

- 「電話」アプリを起動し、[留守番電話] をタップすると、初回起動時は、[続ける] をタップすると、ライブ留守番電話を利用できるようになります。また、「設定」アプリで、[アプリ] → [電話] → [ライブ留守番電話] の順にタップすると、オンとオフを設定できます。



- 録音された留守番電話がある場合、通知センターに通知が表示されます。留守番電話を確認するには、「電話」アプリを起動し、[留守番電話] をタップします。聞きたい留守番電話をタップします。

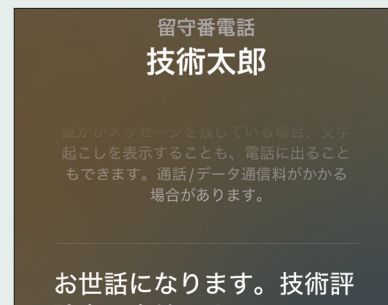


- 留守番電話が再生されます。また、文字起こしされた内容が下部に表示されます。



MEMO 録音中にメッセージを確認する

相手が留守番電話にメッセージを録音中、音声を文字起こしたテキストが表示されます。

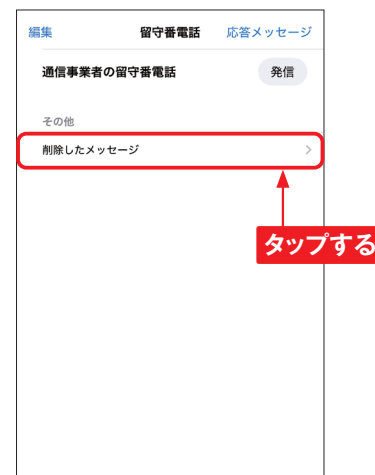


🔌 留守番電話を削除する

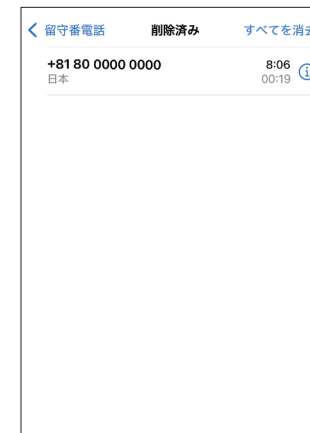
- 録音された留守番電話を削除するには、P.48手順②の画面で、左上の[編集] をタップし、削除したい留守番電話をタップして、[削除] をタップします。



- 手順①の操作をしても、すぐに留守番電話は削除されません。P.48手順②の画面を表示して、[削除したメッセージ] をタップします。



- 削除した留守番電話が表示されます。留守番電話をタップすると、再生することができます。右上の[すべてを消去] をタップすると、完全に削除することができます。



MEMO ライブ留守番電話とソフトバンクの留守番電話サービス

ライブ留守番電話は料金がかかりますが、電波の届かない場所では利用できません。ソフトバンクでは、電波が届かない場所でも留守番電話が使える「留守番電話プラス」(有料)を提供しています。サービスを契約すれば、留守番電話の標準の応答時間(20秒)を極端に短く設定しない限り、電波が届く場所でライブ留守番電話が利用できる状態ではライブ留守番電話、電波が届かない場合やライブ留守番電話が利用できない場合には留守番電話サービスを利用することができます。



着信拒否を設定する

iPhoneでは、着信拒否機能が利用できます。なお、着信拒否が設定できるのは、発着信履歴のある相手か、「連絡先」に登録済みの相手です。

履歴から着信拒否に登録・解除する

- ① P.40手順①～②を参考に「履歴」画面を表示し、着信を拒否したい電話番号の①をタップします。



- ② [発信者を着信拒否] をタップします。



- ③ [連絡先を着信拒否] をタップします。

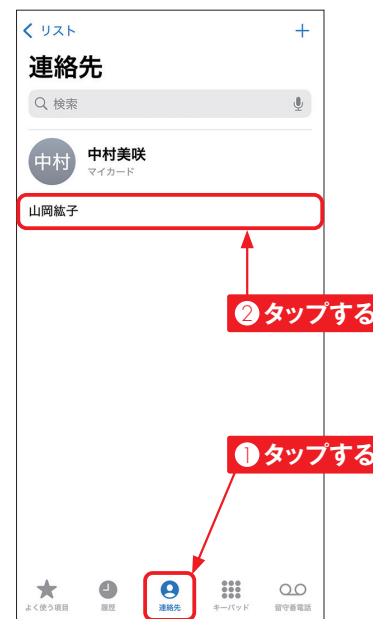


- ④ 着信拒否設定が完了します。[発信者の着信拒否設定を解除] をタップすると、着信拒否設定が解除されます。



連絡先から着信を拒否する

- ① ホーム画面で📞をタップし、[連絡先] をタップします。着信を拒否したい連絡先をタップします。



- ② [発信者を着信拒否] をタップします。



- ③ [連絡先を着信拒否] をタップします。



- ④ 着信拒否設定が完了します。[発信者の着信拒否設定を解除] をタップすると、着信拒否設定が解除されます。



MEMO 不明な発信者を消音する

連絡先に登録していない不明な番号から着信が来た場合、「不明な発信者を消音」にする設定をしていると、着信は消音され、履歴に表示されません。ホーム画面で[設定] → [アプリ] → [電話] → [不明な発信者を消音]の順にタップし、🔇をタップして🔊にすると設定できます。

不明な発信者を消音

不明な番号からの着信は消音され、留守番電話に送られて、履歴リストに表示されません。
「連絡先」に登録されているユーザ、最近発信した相手、およびSiriからの提案からの着信音は消音されず引き続き鳴ります。



Apple Accountを作成する

Apple Accountを作成すると、App StoreやiCloudといったAppleが提供するさまざまなサービスが利用できます。ここでは、iCloudメールアドレスを取得して、Apple Accountを作成する手順を紹介します。

Apple Accountを作成する

① ホーム画面で[設定]をタップします。



② 「設定」画面が表示されるので、[Apple Account]をタップします。「設定」画面が表示されない場合は、画面左上の<を何度かタップします。



③ [Apple Accountをお持ちでない場合]をタップします。



MEMO すでにApple Accountを持っている場合

iPhoneを機種変更した場合など、すでにApple Accountを持っている場合は、Apple Accountを作成する必要はありません。手順③の画面で[手動でサインイン]をタップし「Apple Account」を入力して[続ける]をタップします。「パスワード」を入力して、[続ける]をタップしたら、P.59手順⑮へ進んでください。

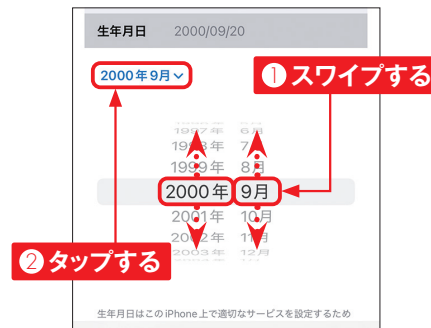
④ 「姓」と「名」を入力し、[生年月日]をタップします。



⑤ 現在の年月をタップします。



⑥ 生年月日の年月を上下にスワイプして設定します。年月の部分をつまみます。



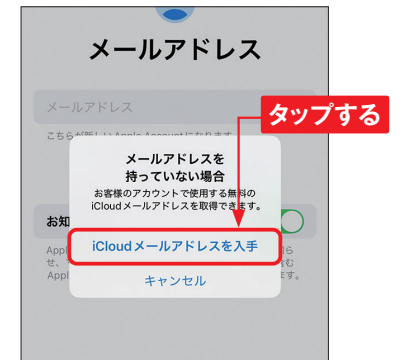
⑦ 生年月日の日をタップし、[続ける]をタップします。



⑧ [メールアドレスを持っていない場合]をタップします。



⑨ [iCloudメールアドレスを入手]をタップします。





迷惑メール対策を行う

MMSやEメール(i)へのアドレスに、迷惑メールがたくさん届くときは、「My SoftBank」から迷惑メールの設定を変更します。「My SoftBank」にログインする手順は、P.63を参考にしてください。

迷惑メール対策を設定する

- ① Wi-Fiを未接続にした状態で、ホーム画面で📍をタップします。



- ② 📖をタップします。



- ③ 「My SoftBank」をタップします。



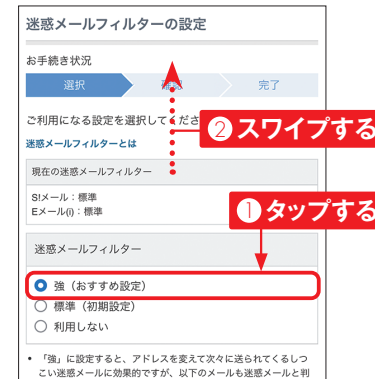
- ④ P.63を参考にして「My SoftBank」にログインし、「メール設定」をタップします。



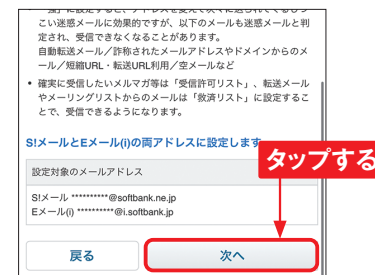
- ⑤ 「迷惑メール対策」の「変更」をタップします。



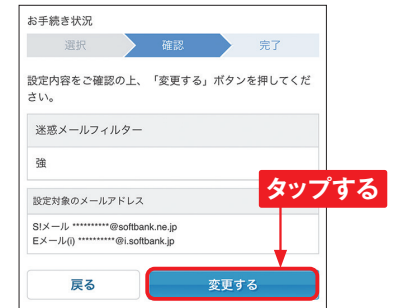
- ⑥ 迷惑メールフィルターの強度を変更できます。ここでは「強」をタップし、上方向にスワイプします。



- ⑦ 「次へ」をタップします。



- ⑧ 迷惑メールフィルターの強度変更の確認画面が表示されます。問題がなければ、「変更する」をタップします。



- ⑨ 迷惑メールフィルターの強度が変更されました。「迷惑メール対策の設定トップへ」をタップすると、手順⑤の画面に戻ります。



MEMO 2種類のフィルター設定

「標準」では、データベースをもとに、メールの内容を機械的に判断し、スパムと判断されたメールが拒否されます。一方で「強」に設定すると、アドレスを変えて次々に送られてくるメールやなりすましメールなども拒否されます。なお、初期設定では、「標準」となっています。

写真や動画を 編集・利用する



iPhone内の写真や動画を編集してみましょう。明るさの自動補正のほか、「傾き補正」や「スタイル」、「調整」などを利用できます。また、動画の編集ではトリミングで長さを変更できます。

写真を編集する

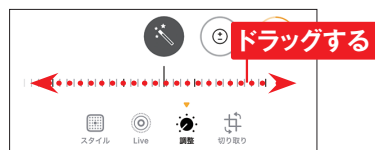
- ① 「写真」アプリで、編集したい写真を表示し、画面下部の → 「調整」の順にタップします。



- ② 「調整」画面が表示され（ポートレートモードの写真はP.158～159参照）、明るさやコントラストなどの補正が行えます。ここでは をタップします。



- ③ 写真が自動補正されます。アイコンの下に表示される目盛りを左右にドラッグすると、好みに合わせた補正ができます。



- ④ より詳細な補正を行いたい場合は、補正項目のアイコンを左にスワイプして補正の種類を選択し、目盛りを左右にドラッグして細かく調整します。



MEMO 編集中に編集前の画像を確認する

写真を編集中に編集を行う前のオリジナル画像を確認したいときは、表示されている写真をタップします。どれくらいの補正ができているか、すばやく確認することができます。

- ⑤ フォトグラフスタイルをあとから設定する場合は、[スタイル] をタップします。



- ⑥ スタイル部分を左右にスワイプし、スタイルを設定します。スタイルの下の目盛りを左右にドラッグすると、スタイルの強度の調整ができます。



- ⑦ 写真をトリミングするには [切り取り] をタップします。



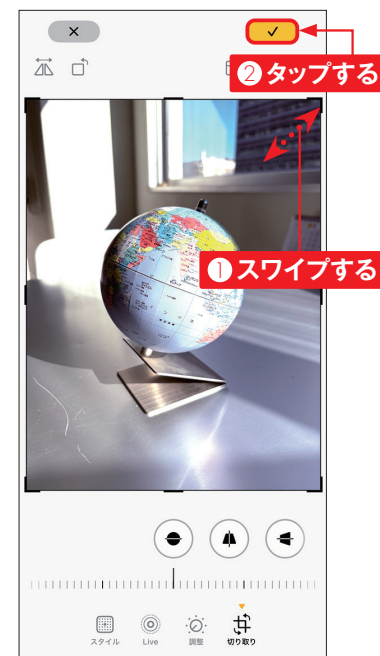
MEMO 変更を破棄する

手順⑨の画面で、左上の → 「変更内容を破棄」の順にタップすると、変更を破棄してもとの写真に戻すことができます。

- ⑧ 写真に傾きがある場合は自動で補正されます。画面下部のアイコンと目盛りで写真の角度や歪みの調整ができます。また、 をタップすると左右反転ができ、 をタップすると写真が90度回転します。



- ⑨ 自由な大きさにしたいときは、枠の四隅をドラッグしてトリミング位置を調整します。 をタップすると写真が保存されます。





ボイスメモを利用する

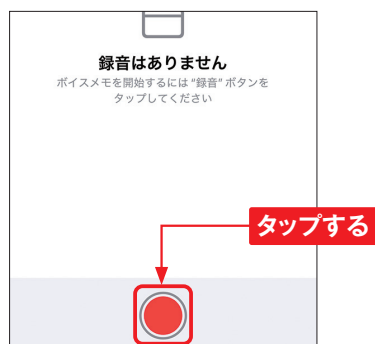
「ボイスメモ」アプリでは、iPhoneに音声を収録できます。iPhone 16 Pro / Pro Maxでは、すでに収録した音声に重ねて音声を収録できる「マルチトラックレコーディング」機能の追加が予定されています。

音声を録音する

- 1 ホーム画面で[ユーティリティ]→[ボイスメモ]の順にタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



- 2 ●をタップします。



- 3 録音が始まります。●をタップすると、録音が終了します。



- 4 「すべての録音」に収録した音声が表示されます。



録音した音声を編集する

- 1 P.184手順④の画面で、●をタップします。



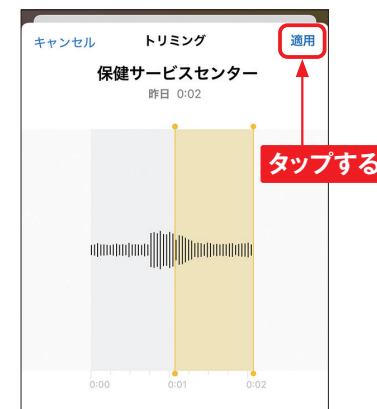
- 2 ≡をタップすると、再生速度の変更や補正ができます。



- 3 手順②の画面で、□をタップし、●をドラッグして、[トリミング]をタップすると、音声のトリミングが行えます。



- 4 [適用]をタップすると、変更を保存できます。



MEMO iPhone 16 Pro / Pro Maxでは、マルチトラックレコーディングが実装予定

iPhone 16 Pro / Pro Maxの「ボイスメモ」アプリには、すでに収録している音声にあとから音声を追加できる機能「マルチトラックレコーディング」の実装が予定されています。収録した複数のトラックはそれぞれ編集できます。

Apple Payで タッチ決済を利用する

Apple Payは、Appleの提供する電子決済サービスです。Suicaやクレジットカードを登録しておく、交通機関を利用するときや、店舗で買い物をするとときにスムーズに支払いができます。

🔌 「ウォレット」アプリにクレジットカードを登録する

- 1 ホーム画面で「ウォレット」をタップします。



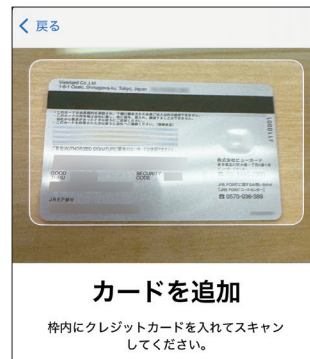
- 2 「追加」をタップします。初回起動時は、画面の案内に従って操作します。



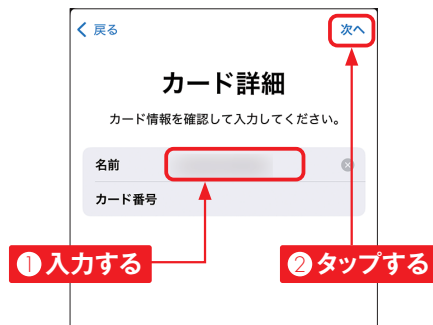
- 3 「クレジットカードなど」をタップします。



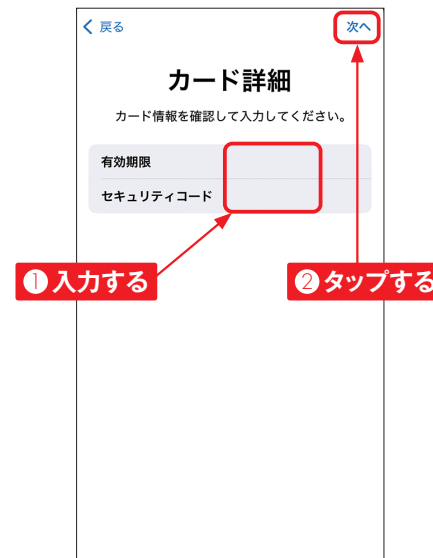
- 4 「続ける」をタップし、iPhoneのファインダーに登録したいカードを写します。



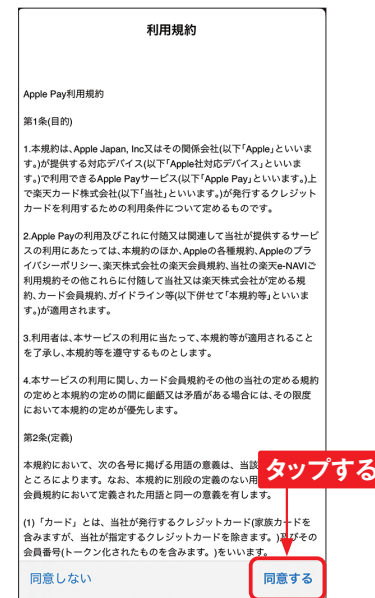
- 5 「カード詳細」画面で「名前」の欄をタップしてカードの名義を入力し、「次へ」をタップします。



- 6 有効期限とセキュリティコードを入力して、「次へ」をタップします。



- 7 「利用規約」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をタップします。



- 8 「完了」をタップします。



- 9 「カード認証」画面が表示されたら、画面の指示に従って認証を行います。



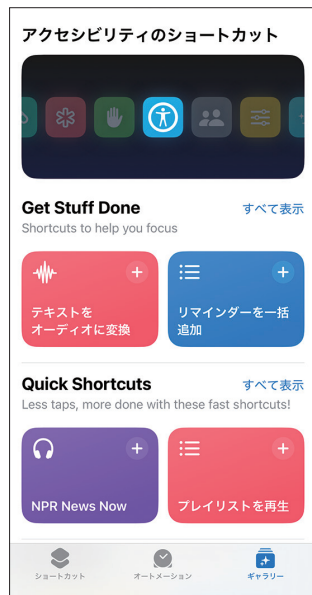


ショートカットでよく使う機能を自動化する

ショートカットは、指定した複数の機能や操作を自動で行ってくれる機能です。「ショートカット」アプリでサンプルのショートカットを使用できるほか、オリジナルのショートカットを作成することも可能です。

ショートカットとは

ショートカットを使用すると、決まった時間や場所で特定のアプリや操作を自動で実行したり、複数のアプリや操作を一度にまとめて行ったりすることができます。まずは、「ショートカット」アプリに用意されているサンプルのショートカットを使って試してみましょう。よく使うショートカットはウィジェットに登録することもできます。また、iPhoneを使い込むことで、よく使うアプリや操作をもとにしたショートカットが提案されます。



「ギャラリー」タブには、あらかじめサンプルのショートカットが多数用意されています。



作成したショートカットは、「ショートカット」タブの「すべてのショートカット」画面から実行できます。

ショートカットを設定する

- 1 ホーム画面で [ユーティリティ] → [ショートカット] の順にタップしてアプリを起動し、[続ける] をタップします。



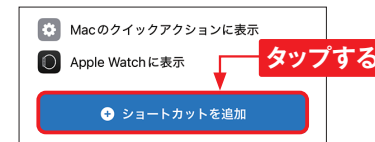
- 2 [ギャラリー] をタップします。



- 3 画面を上方向にスワイプして、設定したいショートカット（ここでは [テキストをオーディオに変換]）をタップします。



- 4 [ショートカットを追加] をタップします。



- 5 [ショートカット] をタップすると、「すべてのショートカット」画面にショートカットが追加されます。タップすることで、ショートカットが利用できます。



MEMO オリジナルのショートカットを作成する

オリジナルのショートカットを作成するには、「すべてのショートカット」画面右上の+をタップし、「アクションを追加」をタップします。「お使いのアプリからの提案」によく使うアプリや操作が表示されているので、タップして [完了] をタップすると、「すべてのショートカット」画面にショートカットが作成されます。



iPhoneを探す

iCloudの「探す」機能で、iPhoneから警告音を鳴らしたり、遠隔操作でパスコードを設定したり、メッセージを表示したりすることができます。万が一に備えて、確認しておきましょう。

🔌 iPhoneから警告音を鳴らす

① パソコンのWebブラウザでiCloud (<https://www.icloud.com/>) にアクセスし、[サインイン] をクリックします。iPhoneに設定しているApple Account (旧 Apple ID) を入力し、👉をクリックします。



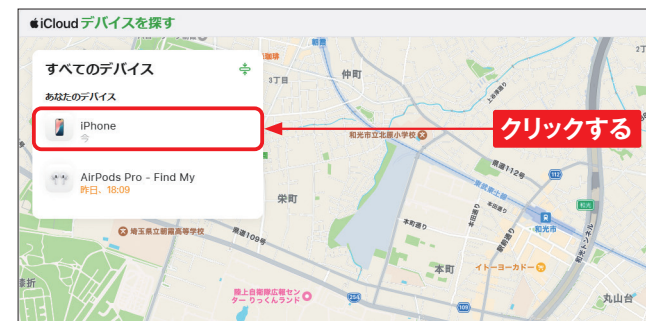
② パスワードを入力し、👉をクリックします。



③ [デバイスを探す] をクリックします。



④ iPhoneの位置が円で表示されます。「あなたのデバイス」のデバイスをクリックします。

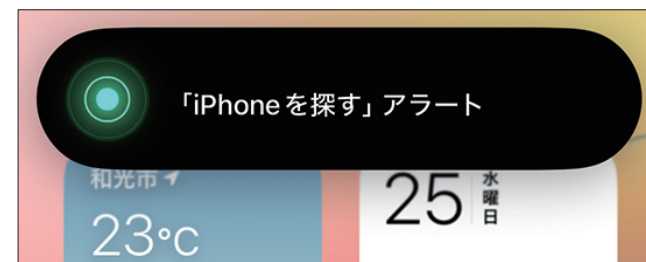


⑤ [サウンド再生] をクリックすると、iPhoneから警告音が鳴ります。

クリックする



⑥ iPhoneの画面にメッセージが表示されます。



MEMO 最後の位置情報を送信する

iPhoneの「探す」機能は、標準でオンになっています。[設定] → 自分の名前 → [探す] → [iPhoneを探す] の順にタップして「最後の位置情報を送信」をオンにすると、バッテリーが切れる少し前に、iPhoneの位置情報が自動で、Appleのサーバーに送信されます。そのためバッテリーがなくなって電源がオフになる寸前に、iPhoneがどこにあったかを知ることができます。また、「探すネットワーク」をオンにすると、オフラインのiPhoneを探すことができ、電源オフになっていたり（最大24時間）、データが消去されてしまったりした端末でも探せます。



スタンバイを利用する

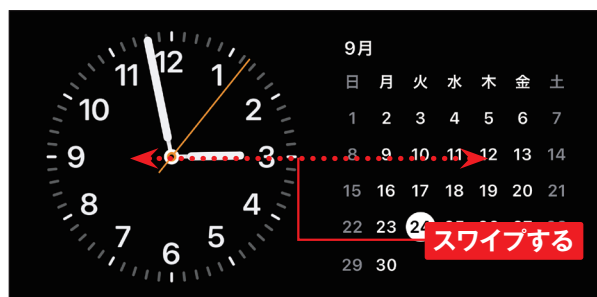
iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定すると、ロック画面の代わりにスタンバイが表示されます。充電中にいつでも時計やウィジェットを確認できます。

スタンバイの表示を切り替える

- 1 iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定します。初回に「ようこそスタンバイへ」画面が表示されたら、[続ける]をタップします。



- 2 ウィジェットのスタンバイが表示されます。画面を左右にスワイプすると、スタンバイを「ウィジェット」「写真」「時計」に切り替えることができます。

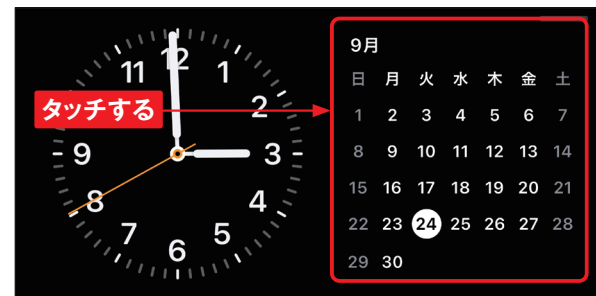


- 3 画面を上下にスワイプすると、ウィジェットの切り替えや時計のデザインを切り替えることができます。



ウィジェットを追加する

- 1 ウィジェットのスタンバイを表示した状態で左右どちらかのウィジェットをタッチします。



- 2 画面左上の[+]をタップします。



- 3 追加したいウィジェット(ここでは[株価])をタップし、[ウィジェットを追加]をタップします。



- 4 画面右上の[完了]をタップすると、追加したウィジェットが表示されます。

